

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	経営シミュレーション(ビジネスゲーム)を活用した起業力養成講座開発		
法人名	学校法人新潟総合学院		
学校名 ((2) のみ)	新潟ビジネス専門学校		
代表者	理事長 池田 弘	担当者 連絡先	松山洋 TEL025-241-2131

1. 事業の概要

定年退職を控えた中高年など、企業の一員として就業していた人が就業の機会を失う状況がみられることから、このような方を対象とした、新規起業のためのノウハウの習得やビジネスゲームによる経営シミュレーションを内容とする教育プログラムを開発する。これにより、再チャレンジを可能にし、地域の活性化と雇用の拡大を図る。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

定年退職により離職したり、数年後の退職を見越して起業を第2の人生の選択肢の一つとして考えている方や、中高年に差し掛かり、新たな道に再チャレンジしようとしている方を集め、起業に役立つ知識とノウハウ、スキルを身につける実践的な講座を実施することができた。修了後の起業への取り組みにも当初の狙い以上の成果が現れている。

②事業により得られた成果

無謀ではない現実的かつ成功する起業に必要な心構えや知識、ノウハウ、スキルを身につけることができる講座を新規にあるいは既存のシステムを活用し、受講対象者向けにアレンジして組み合わせることにより1連のプログラムとして講座を開発した。起業や会社経営に必要な知識、ノウハウを4日間学んだ後、経営シミュレーション(ビジネスゲーム)を6日間経験し、理論や知識を踏まえ、経営を模擬体験することができるものとした。また、実際に起業された社長による講演とケーススタディを通じて経営の魅力と厳しさや成功のための戦略を吸収していただけた。最後にこれらを総動員して、個人またはグループでビジネスプランを作成するプログラムを開発することができた。講座終了後、起業のために具体的に5名以上の方が取り組んでいる。

③今後の活用

社会人講座の1プログラムとしての活用を検討する。また、21年設置予定の起業家を育成する事業創造学科のカリキュラムの一部に開発した内容を取り入れることを検討し、初学者向けに難易度を調整する形で本校の教育プログラムに加えて行きたい。

④次年度以降における課題・展開

企業会計に関する理解度が受講生間で最もバラつきがあり、運営上最も苦慮した。次年度継続して実施できる場合は、事前に受講者に副読本を提供し、予備知識をある程度もって参加していただくことで、中級以上の方のレベルに合わせた内容とすることができると考える。また、仕事や家庭の都合で止むを得ず欠席した方もいて、課題が残った。

8月から11月の間は、商工会議所や新潟県関連の創業支援団体が同様の講座を他省から予算をつけてもらい類似の講座を実施する例が見られる。今回は上手く対応でき21名の参加を得たが、実施時期と期間の調整に心配りが必要である。次年度以降の展開の際に考慮のうえ進めていく。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

①同様の講座の講師経験者、実施団体に対するヒアリング、②起業経験者に対する起業の際に困ったこと、起業当初から、わかっているとよりスムーズだったことなどを聞き取る方法で行った。当初の仮説に加え、経営シミュレーションの時間数および資金調達に関する内容を増強する必要があると分析判断し一部修正した。

②カリキュラムの開発

中高年の方が起業のために必要な知識とノウハウ・スキルを身につけることができる講座の開発を目指した。本校の非常勤講師経験者である中小企業診断士や税理士、経営コンサルタント、経営系大学の教授、創業企業家、人材派遣会社社長等にヒアリングを行い、要件を定義し、それを1ヶ月半程度の期間で土日に受講できるものに組み上げていった。

③実証講座

中高年歓迎!!短期集中起業塾というわかりやすい愛称をつけ起業のための知識、技術等を身につけたい人を募集。

●テーマ: 中高年を中心とした、企業の一員として働いていた方が新たに起業するために必要な能力を育成する講座を開発実施した。

●講座実施期間: 10月14日(日)～12月2日(日)の土曜・日曜12日間、延べ65時間30分

●場所: 新潟ビジネス専門学校校舎、事業創造大学院大学(新潟ビジネス専門学校が行事等により使用できないとき借用)

●受講者の属性:

①職業: 会社員7名、主婦4名(子供の手が離れた後の起業を検討中含む)、求職・起業準備中3名、会社役員2名(新規事業検討中)、自営業2名、学生2名、アルバイト1名

②年齢: 20代:1名、30代:5名、40代:6名、50代:6名、60代3名

③性別: 男性:14名 女性:7名

●受講者数: 21名

●応募受講状況

①問合せ数: 25件

②申し込み数: 23名(後日2名キャンセル)

③受講者数: 21名(再掲)

④修了、準修了: 13名(出席率67%以上かつ全分野のプログラムに参加した方)

⑤欠席事由: 仕事の都合(土曜日出勤のため)、家事都合、実母の死去

●受講者の反応

①アンケート結果より、8割以上が5段階評定の5ないし4をつけており、満足度は高かったと推察される。講義よりも参加型の形式が評価が高い。また、起業経営者の講演と経営シミュレーションの評価が特に高かった。

②講座受講後、少なくとも5名が起業のための準備を進めている。

以前から考えていたビジネスプランのブラッシュアップに成功した方や、自己の経験や人脈の可能性に気づき起業準備を始めた方、講座で知り合った人と起業のための情報交換を続けている人など、今後具体的な起業に結びつく見込みがある方を他にも多数輩出できた。

④その他

経営シミュレーションを通じ、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を高めることも心がけて行った。単に資金繰りやマーケティング、経営戦略の実証を模擬体験することにとどまることにとどまらず、株主総会を想定したプレゼンテーションや経営方針を決定するグループワークを重視した。これによって資金調達(借入れや出資者の確保)の際に経営者に必要とされるプレゼンテーション力や協働する可能性がある人との上手くやれる能力の必要性も感じていただけるものとする事ができた。

個人の起業に関するシーズを扱うため、事務局、受講者及び講師は相互に守秘義務の徹底を図ることを約束し、その結果、スムーズに運営することができた。